

TGRF2011・キッズ記者体験レポート

千葉県 小学校5年

内村 真瞳

私は、11月27日富士スピードウェイに行きました。そこでキッズ記者体験に参加しました。とても楽しみにしていて、ワクワクしました。

一番いんしょうに残ったのは、新田選手と荒選手にインタビューしたことです。

最初に荒選手にインタビューしました。

Q. 荒選手の特技は？

A. ミニトマトのしゅうかくに成功したことです！一番最初のしゅうかくでは、2つしかとれませんでした。そのあとたくさんとれて、たっせいかんが強かったです。愛情をこめて作りました。

Q. ドライバーになるには？

A. 努力をすることです。それからあきらめず、人との関わりを大切にすることです。

Q. 目標の人は？

A. います。昔の選手なんですが、トム・クリステンセン選手です。レースのけっかだけでなく、人との関わりも大切にしているので、とてもあこがれています。



荒選手は、車がとても好きで人との出会いを大切にしている人なんだな、と思いました。ありがとうございました。

エネオスのピットクルーさんに、ピットの中を見せていただきました。



ENEOSの車は、GT500クラスで、しんかんせんと同じ300キロのスピードが出せるのでとても驚きました。ギアは6そく、ペダルは、左からクラッチ、ブレーキ、アクセルとならんでいました。タイヤ交かんのときに、車体を上げる音が、「ブシュッ！」となるので、びっくりしました。ドライバーは車の中で、ピットの人と無線で話しをしているそうです。

この車1台は大体4億円ほどするんだそうです。

表しよう台にも行きました。

レースの後、1～3位の人はここでシャンパンをまいたり、写真をとってもらったりしているのか・・・と思うと、とても感動しました(笑)。高くて見晴らしがとてもよかったです。

新田選手にもインタビューしました。

Q. レーサーになったきっかけは？

A. 子どものときにしんせきのお兄さんがレーサーで、自分もなれるかもしれない!と思い、めんきょをとったときにレーサーになろうと思いました。車はとても好きでした。

Q. 目標の人は？

A. たくさんいます。いろんなみで、あこがれているのは、星野一義選手です。

Q. 夏の車の中はどれくらい？



A. 夏の車の中は60～70℃前後なのでとてもキツイです。あつきたいさを心がけています。



今回のキッズ記者体験をして思ったことは、GTやF1などのレーサーは速く走るだけではなく、人との関わりや出会い、努力の積みかさねで、強くなれたんだなと思いました。それから、1人だけではなにもできないんだとあらためて思いました。

記者体験にご協力して下さったみなさま、そして関係者のみなさま、ありがとうございました。

